



なるほどなっとくニュース

県立山口博物館

学校地域連携担当

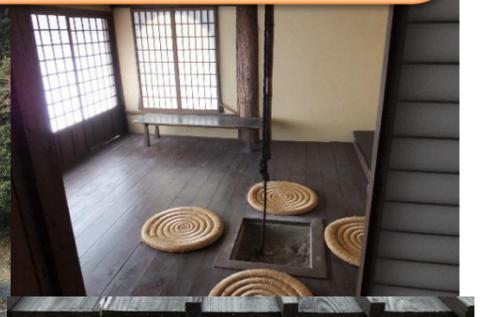
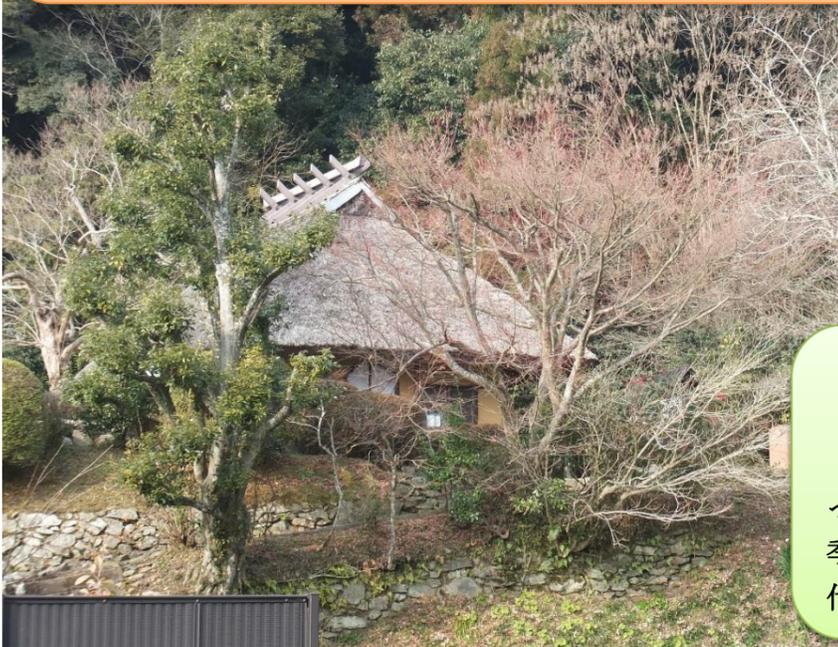
なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館のホームページでダウンロードすることができます。



あな雪舟のアトリエ「雲谷庵」と、山口の迎賓館「菜香亭」

山口博物館から約1km東に行くと、国道9号線を挟んで、北に「雲谷庵」、南に「菜香亭」があります。できた時代も関わる人も違いますが、この静かなたたずまいの中からさまざまな文化や歴史を学ぶことができます。

1/18



うんこくあん 雲谷庵

室町時代の画家「雪舟」が中国から帰った後に開いたアトリエで、有名な「四季山水図」など描いた場所です。明治時代に復元されました。

雲谷庵跡
山口県萩市
この建物は、室町時代の画家雪舟の阿トリエと推定され、明治時代に復元された。雪舟は、室町時代の中国から帰った後に、この地にアトリエを開いた。雪舟の代表作「四季山水図」は、このアトリエで描かれたとされている。雪舟の阿トリエは、室町時代の代表的な建築様式である。雪舟の阿トリエは、室町時代の代表的な建築様式である。雪舟の阿トリエは、室町時代の代表的な建築様式である。

ここでどんなドラマがあったのでしょうか？ 現在もここで抹茶をいただいたり、広間ごと借りることができます。



現在の建屋と庭園は、近くの場所から移築・復元したものです。

山口市菜香亭

毛利家の料理人であった齊藤幸兵衛が、明治10年頃、八坂神社境内の一角に料亭を開業し、その料亭をひききしていた井上馨が主人の名前をもじって「菜香亭」と命名した。木戸孝允、佐藤栄作ら多くの政治家に親しまれた歴史的空間は大きな意義をもつ。平成8年(1996)、料亭としての幕は閉じたが、移築され、平成16年(2004)歴史や文化を通じた幅広い交流の場としてオープンした。

やまぐちしさいこうてい 山口市菜香亭

明治10年に八坂神社の境内に開業した料亭で、山口市の迎賓館として井上馨、伊藤博文、佐藤栄作など数々の歴史を担った人々が集った場所です。この大広間は100畳あり、最大500人入れるそうです。末席からは上座の人の顔はどれくらいに見えたのでしょうか？